校長室通信　7/25　37号

1 学期の反省

令和７年度１学期の振り返り集計表

順位	評価項目	平均	肯定的割合
-	「みんなが、今日も楽しかった。明日も楽しみと思える学校を創ろう」の実現状況	3.1	92.7
1	一人任せにせず、チームとして対応する体制づくり・何でも言い合える風通しのよい職員室の実現	3.3	97.6
1	校内研修の充実・推進（自己肯定感や自尊感情を高める教育活動の実現・あゆみ続ける教職員）	3.3	97.6
3	本気の働き方改革（働きやすく、居場所があり、効率的に）	3.2	92.7
4	研究してきたリーディングDXの継続（デジタル技術に）「なれる」（教員と子ども・子供同士・学校と家庭・職員同士が）「つながる」	3	79.5
5	特別活動の充実（主体性を発揮する場の保証）と様々な自主的な活動の推進（児童会活動・委員会活動・クラブ活動・係活動の充実。）	3	84.6
6	特別支援教育の充実（ユニバーサルデザイン化の推進・個に応じた指導）	3	90.3
7	あはは運動の推進（基本的生活習慣の確立）	3	90
7	対話的な学びの実現（自分や友達の考えを意欲的に伝え合う。）	3	76.3
9	相手を思いやる言動の指導と徹底（ふわふわ言葉、さん付け・いじめを許さない風土の醸成）	2.9	85.3
9	防災・安全指導の徹底（自転車の乗り方・安全点検・防災プログラムの活用等）	2.9	80.5
11	基礎的・基本的内容の徹底と確かな学力の定着・一人も取り残さない授業（めあて・まとめが子供に届く）	2.9	79
11	家庭学習の習慣化（家庭学習の手引きの活用・家庭と連携した家庭学習・高学年は自主学習への転換）	2.9	81.1
13	学習規律の定着と学び方の習得（小柳っ子の学び方・学習規律の定着）	2.9	82.1
13	表現力を豊かにする指導法の工夫（表現する機会、方法、質を豊かにする・ICT機器を表現する１つのツールとして活用）	2.9	74.4
15	主体的な学びの実現（問題意識をもち、自分の考えを進んで表現しようとする。）	2.9	73.7
15	遊びの充実と運動への意欲づけ	2.9	81.1
15	体力を高める指導（体育の授業や遊び方の工夫）	2.9	76.4
18	メディアとの関わり方の指導（基本的生活習慣の確立）	2.9	76.9
19	ルールやマナーを身に付けさせ、よさを認め、一人ひとりの定着を図る。そろえる。（特別教室移動の行き帰り、廊下歩行、はきものそろ	2.8	75.6
20	深い学びの実現（他者の意見と自分の意見を比較し、自分の考えをより深めようとする。）	2.7	63.1
21	トイレのスリッパ並べの指導と評価※子供たちはトイレのスリッパ並べができているか（基本的生活習慣の確立）	2.7	73.1
22	子供と教師との協働による学校環境の整備（もくもくそうじ）	2.7	67.5
23	けじめのある生活の習慣化（返事・反応）	2.7	65.8
24	読書活動の充実（時間確保と内容の充実）	2.7	65
25	あいさつ運動の推進（ワンスストップあいさつの励行）	2.5	53.6

子供たちは夏休みに入りましたが、22 日に職員は 1 学期の振り返りを行いました。

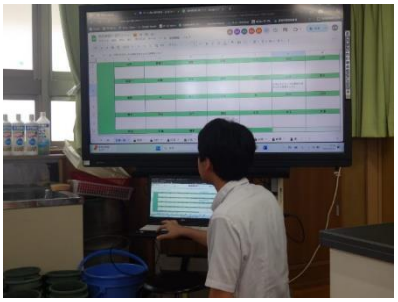
黄色の網掛けは、肯定的意見の割合が高かった項目、ピンクの網掛けは低かった項目です。

4 月にスローガンとして職員にも子供たちにも伝えた『「みんなが　今日も楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校創り』ですが、2（あまりできていない）の評価もあり、さらに学校生活の充実に努めていかなければなりません。

2 学期の課題として改善が求められたのは、「あいさつ・返事」といった基本的な習慣の確立です。良くなってきている部分もありますが、子供たちが社会に出て必要となり、評価される点でもあります。小榊小を卒業するまでに、必ず身に付けさせたいです。

集計表の結果を受けて、それぞれのプロジェクトチームに分かれて 2 学期からの手立て等について検討会も開きました。

校内研修



新たな時代で輝く子供の育成
～これからの学校と教師の役割～を研究主題に、我々教師自身が、自らの課題を設定し、研修を深めていきます。研究主任の山本教諭からの講義を受け、楽しみながら前向きに取り組んでいるところです。

すくすくカードの集計結果（6 月）

全校集計（計算用）									
○の数	7 個	6 個	5 個	4 個	3 個	2 個	1 個	0 個	計
起きる時刻	189	86	145	57	30	18	4	6	535
寝る時刻	141	115	110	73	36	24	20	16	535
朝ごはん	484	26	5	8	6	3	2	1	535
家族との会話	332	57	55	29	27	15	13	7	535
１０分読書	113	42	53	62	46	63	50	106	535
メディアの時間	189	69	82	73	46	18	17	41	535

学校保健委員会の中でも担当から報告がありました。6 月のすくすくカードの結果です。

私が注目したのは、家族との会話です。1 週間のうち毎日（7 個）おうちの人と話をした子供もたくさんいます。しかし、1 週間の半分も家族と話をしていないと思っている子供が 62 人もいたという結果です。もちろん子供側から見た結果かもしれませんが、そう感じている子供たちが全体の 11％もいるということです。仕事や家事などで大変忙しく、仕事も重要なポストを任されていることでしょう。それでも、この結果を見ると、なんだか悲しくなりました。子供たちは、「ある意味寂しいのかなぁ」と思います。「今日の出来事を聞いてほしい。」「私の話を聞いてほしい。」「こんなことあったんだよと言いたい。」などなど、思うことはいっぱいかもしれません。

44 日間という長い夏休みに入ります。子供たちには、普段できない、長い夏休みにしかできないことをやってみようと担任から伝えています。ぜひ、ご家庭でも、「夏休みだからこそ、会話を増やす。」「夏休みだけでも会話を増やす。」といった目標で、子供たちの話を聞いてもらえると幸いです。

みんなが「今日も楽しかった。明日も楽しみ。」とおもえる生活を送ることができるよう家庭と学校、地域が一緒になって子育てをしていきましょう。